



文化博物館だより

第580号

2022年3月2日

今回の博物館だよりは、開催中の企画展「くらしのうつりかわり展 海辺の生活」と関連イベントについて、また兵庫県立図書館×明石市立文化博物館コラボ企画のご案内をお届けします。

開催中！企画展「くらしのうつりかわり展 海辺の生活」(～3月21日)



毎年この時期に開催している企画展「くらしのうつりかわり展」が今年も始まりました。今回は、海辺の生活と題して、昭和期に実際に明石の漁業で使われた漁具や写真などを紹介しています。

写真は、テレビ取材のために、かつて明石で盛んに行われていた貝突き漁の方法を、本展でも展示している貝突き道具を使って西二見漁業協同組合の山本章等組合長に実演いただいた時の様子です。船の上から先端にモリが付いた長い棒状の「貝突き」を



貝の口が開いた隙間にモリを突き、貝が驚いて口を開いたところを引き上げます。

海底に下すだけのシンプルな漁で、海中を見ずに突いても昔は大量の貝が取れたそうです。その他、金属製のヘルメットが目を引く潜水服他、漁師の生活道具等も展示しています。またロビーでは、昭和時代の生活道具の展示も。是非ご覧ください。

「おっちゃんの紙芝居」(2月23日)／ワークショップ「足踏み式ミシンを使って布を縫ってみよう」(2月26日)



おっちゃんの紙芝居のようす



ワークショップのようす

展覧会関連イベントとして、2月23日に紙芝居師の阿部元則氏による「おっちゃんの紙芝居」を開催。昨年は、コロナで中止となったイベントで、2年越しに再開することができ、会場は静かな熱気に包まれました。また、2月26日には、吉本学芸員の指導のもとワークショップ「足踏み式ミシンを使って布を縫ってみよう」を開催しました。みなさん、器用に足踏み式ミシンを使いこなして、素敵な巾着やコースターを作っていました。※吉本学芸員の見事なミシン裁きの動画が当館公式Twitterでご覧いただけますよ！

兵庫県立図書館×明石市立文化博物館 昭和の暮らし展 (開催中～6月15日)



兵庫県立図書館展示のようす

ただいま兵庫県立図書館において、当館で開催中のくらしのうつりかわり展にあわせて、昭和のくらしを紹介する展示コーナーが特設されています。昭和時代の暮らしの様子を、兵庫県立図書館所蔵資料や当時の写真、新聞記事などで振り返る内容です。恒例の兵庫県立図書館×明石市立文化博物館のコラボ企画。是非両館あわせてお楽しみください。

展示場所：兵庫県立図書館 2階大閲覧室

企画展「くらしのうつりかわり展 海辺の生活」

会期：2022年1月30日(日)～3月21日(月・祝)

休館日：月曜日(但し、3月21日は開館)

開館時間：9時30分～18時30分(入館は18時まで)

観覧料：大人200円、大高生150円、中学生以下無料

詳しい展覧会情報は当館HPをご覧ください。

<http://www.akashibunpaku.com/>



おもしろい たのしい

来て、見て、発見！

ぶんぱくGO!!